R7介護保険サービス提供事業者調査

設問№	設問趣旨	対象	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	8	9	(10)	(ii)	(12)	(13)	(14)	(15)	16)	(17)	(18)
					訪問看護	訪問リハ	通所介護/通所リハ/地密通所					夜間対応型					特養/地密特養		医療院	養護・軽費・有料
1 事業所について													,			,				
問1-1	事業所の経営形態	一部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	施設の経営形態	一部																0		
	施設の経営形態	一部																	0	
問1-2	施設の種別	単独																		0
問1-2	事業所の所在地	一部	問1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
問1-△	施設の所在地	一部															問1-1	問1-2	問1-2	問1-3
問1-△	施設の形態	一部															問1-2			
		単独																問1-3		
問1-3	施設の運営形態	単独																	0	
問1-3	サービスの提供区	一部	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
問1-4	提供しているサービスの種類	単独					0													
		単独						0												
問1-4	事業所の形態	単独									0									
問1-4	特定施設入居者生活介護の事業所指定の状況	単独																		0
問1-5	特定施設入居者生活介護への転換意向の有無	単独																		0
問1-△	併設する介護保険サービス事業所の有無	一部	問1-4	問1-4	問1-4	問1-4	問1-6	問1-5	問1-4		問1-5	問1-4	問1-4	問1-4	問1-4	問1-4	問1-3	問1-4		問1-6
問1-△	併設する事業所が提供している介護保険サービス	一部	問1-5	問1-5	問1-5	問1-5	問1-7	問1-6	問1-5		問1-6	問1-5	問1-5	問1-5	問1-5	問1-5	問1-4	問1-5		問1-7
問1-△	併設する高齢者共同住宅の有無	一部	問1-6	問1-6	問1-6	問1-6	問1-8	問1-7	問1-6		問1-7	問1-6	問1-6	問1-6	問1-6	問1-6				
2 サービスの提供状況	祝等について																			
問2-1	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	一部	0	0	0	0					0	0								
問2-1-1	総提供回数	単独	0																	
問2-1-△		単独		問2-1																
問2-1-△		一部			0	問2-1														
問2-1-△		単独									問2-1-1									
問2-1-△		単独										0								
問2-1-2	総提供時間(移動時間は除く)	単独	0		0															
問2-1-2		単独			0															
問2-△-△	最大提供回数	一部		問2-2		問2-2														
問2-△-△	延べ提供人数	単独									問2-1-2									
		単独										0								
問2-2	常勤職員による訪問介護サービスの提供時間	一部	0																	
問2-2-1	常勤職員によるサービスの平均提供回数	一部									0	0								
問2-2-2	常勤職員によるサービスの最大提供回数	一部									0	0								
問2-3	随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間	一部									0	0								
問2-1	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	一部					0						0							
問2-2	サービス利用者が通ってくる主な範囲	一部					0						0							
問2-3	現在のサービス提供メニュー	一部					0						0							
問2-1-1	ショートステイの事業形態	単独						0												
問2-1-2	令和7年8月~10月の3か月間の延べ利用日数	単独						0												
問2-1-3	専用床を増やす予定の有無	単独						0												
問2-1-4	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	単独						0												
問2-2-1	延べ利用日数(一時的活用)	単独						0												
問2-2	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	単独						0			1									
問2-1	介護予防支援事業所の指定の有無	単独							0											
問2-2	介護支援専門員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	単独							0											
問2-3	ケアプランを作成している要支援1・2の方の利用者数	単独							0											
問2-1	専門職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	単独								0										
	1	1	1	1		1	I .	1	1	1	1	1	I	I	I	L	1	Į		i

R7介護保険サービス提供事業者調査

設問№	設問趣旨	対象	1	<u>2</u>	3	4	<u>(5)</u>	6	<u> </u>	8	9	10	11)	12	(3)	14	(15)	16	17	18
問2-2	予防支援担当者職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	単独	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護/通所リハ/地密通所	短期入所	居宅介護支援	包括	定期巡回	夜間対応型	認知症通所	小多機	認知症GH	看多機	特養/地密特養	老健	医療院	養護・軽費・有料
_{D 2-2} 問2-1	事業所(施設)の定員、入所者の状況	一部								0					0					0
	事業所 (施設) の定員、八所有の仏派 定員	一部													0		0	0		0
	ユニット数	一部													0		0	0		0
問2-1-2	ス所(入居)者数	一部													0		0	0		
問2-1-3	- 予定時間以外の対応	単独													0		0	0		0
問2-2 問2-△	選営法人が同一または同一の代表者が運営している関連施設	一部																	問2-1	0
	正名	一部															BBO 4	BBO 4	問2-1	
問2-△	入所者の及所能の状況	一部															問2-1 問2-2	問2-1	問2-3	
問2-△	令和7年11月1日現在の登録者数	一部														_	PJZ-Z	問2-2	DJZ-3	
問2-1	市和7年11月1ロ現住の豆球有数 訪問看護の利用者数	-								-				0		0				
問2-2		一部												0		0				
問2-3	令和7年10月の1か月の延べ利用回数	一部												0						
問2-3	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	一部	0	0																
問2-2	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	単独			0				BEO. 4.		BBO 1				BBO 1	880 1	BBO O	BBOO		EFO 4
問2-△	ターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験の有無	一部			問2-3				問2-4-1		問2-4				問2-1	問2-4	問2-3	問2-3		問2-1
問2-4-2	直近1年間の看取り件数	単独			EHO 1				0		BB0 -				BBO O	BBO -	FFO 1	BBQ 1		EFO O
問2-△	ターミナルケア(看取り)についての考え	一部			問2-4				問2-5		問2-5				問2-2	問2-5	問2-4	問2-4		問2-2
問2-△	ターミナルケア(看取り)を可能とするために必要な条件	一部			問2-5				問2-6		問2-6				問2-3	問2-6	問2-5	問2-5		問2-3
3 事業所/施設/医療が			T	T	Т	Ι	I	ı	I	I	Τ			I	I	I		I	ΙΙ	
問3-1-1	事業所運営に関する問題点	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問3-1-2	介護報酬が実態にそぐわない理由	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問3-1-3	新たに設置を希望する加算	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問3-1-4	地域・医療との連携が難しい理由	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問3-2	介護予防・日常生活支援総合事業の問題点	一部	0				0													
問3-2	介護予防サービスの問題点	一部	BBO O	0	0	0	BBO O	0	0	0	BBO O	FIFO. O	0	0	0	BBO O	BBO O	BBOO	FIFE O	0
問3-△	サービスの質の向上のために行っている取組	全部	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-2	問3-2	問3-3	問3-3	問3-3	問3-2	問3-2	問3-2	問3-2	問3-3
問3-△-1	サービス利用に関する苦情解決の方法	全部	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-4-1
問3-△-2	解決できない問題	全部	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-4-2
問3-△	夜間勤務体制(夜勤職員の配置)	一部						問3-5			問3-4			問3-5	問3-5	問3-4	問3-4	問3-4	問3-4	問3-5
問3-△	夜間の人員体制についての自由記載	一部					BBO 5	問3-6			問3-5	BBO 4	BBos	問3-6	問3-6	問3-5	問3-5	問3-5	問3-5	問3-6
問3-△	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	一部		BB0 5 4			問3-5	問3-7			問3-6	問3-4	問3-5	問3-7	問3-7	問3-6	問3-6	問3-6		問3-9
問3-△-1	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	全部	問3-5-1	問3-5-1	問3-5-1	問3-5-1	問3-6-1	問3-8-1	問3-5-1	問3-5-1	問3-7-1	問3-5-1	問3-6-1	問3-8-1	問3-8-1	問3-7-1	問3-7-1	問3-7-1	問3-6-1	問3-7-1
問3-△-2	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	全部	問3-5-2	問3-5-2		問3-5-2	問3-6-2	問3-8-2	問3-5-2	問3-5-2	問3-7-2	問3-5-2	問3-6-2	問3-8-2	問3-8-2	問3-7-2	問3-7-2	問3-7-2	問3-6-2	問3-7-2
問3-△-△	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	全部	問3-5-3	問3-5-3	問3-5-3	問3-5-3	問3-6-3	問3-8-3	問3-5-3	問3-5-6	問3-7-3	問3-5-3	問3-6-4	問3-8-4	問3-8-4	問3-7-4	問3-7-4	問3-7-4	問3-6-4	問3-7-4
4 職員への対応につ		A ±0	T		T	I		I	I	I	Τ			I	I	I		I		
問4-1-1	過去1年間の採用、定着状況	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-1-1-ア-A	採用状況、採用・退職者数	一部	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問4-1-1-ア-B		一部	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問4-1-1-ア-A		単独								0										
問4-1-1-ア-B		単独								0										
問4-1-1-ア-C	MACO Control Malabara	単独								0										
問4-1-1-イ-A	職員の定着状況	一部	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問4-1-1-イ-B		一部	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問4-1-1-イ-A		単独								0										
問4-1-1-イ-B		単独								0										
問4-1-1-イ-C	(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(単独								0										
			1	1	1	1	i .							1	I .	I	l .	1	1 1	
問4-1-1-ウ-A	(地域包括支援センターのみ) 平均在籍年数	単独								0										

R7介護保険サービス提供事業者調査

設問№	設問趣旨	対象	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11)	12	(3)	14)	15)	16	17	18
			訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護/通所リハ/地密通所	短期入所	居宅介護支援	包括	定期巡回	夜間対応型	認知症通所	小多機	認知症GH	看多機	特養/地密特養	老健	医療院	養護・軽費・有料
問4-1-1-ウ-C		単独								0										
問4-1-2	職員募集で効果があった方法	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-1-3-ア	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-1-3-ア-A	職員数	全部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問4-1-3-イ	定年制度	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-1-3-イ-A	定年年齢	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-1-3-イ-B	定年後の継続雇用制度	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-1-3-ウ	職員数(実人数)	全部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問4-1-3-工	職員数の過不足に対する考え	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-1-3-エ-A	過不足	一部	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問4-1-3-エ-B	過不足(専門職員)	単独								0										
問4-1-3-エ-C	過不足(予防支援担当職員)	単独								0										
問4-2	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-3	職員に対して行っている配慮	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-4	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-5	職員の給与に対する考え	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-6	全職員を対象に実施している内部研修	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-7	外部研修などへの職員の参加	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-8	外部研修などへ参加させていない理由	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-9	職員に受けさせたい外部研修	全部	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
問4-10	介護助手の活用	一部		0			0	0									0	0	0	0
問4-11	介護助手の活用効果	一部		0			0	0									0	0	0	0
問4-12	介護助手を活用する予定	一部		0			0	0									0	0	0	0
問4-13	介護助手を活用しない理由	一部		0			0	0									0	0	0	0
問4-△	スポットワークの活用	全部	問4-10	問4-14	問4-10	問4-10	問4-14	問4-14	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14
問4-△	スポットワークの活用理由	全部	問4-11	問4-15	問4-11	問4-11	問4-15	問4-15	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-15	問4-15	問4-15	問4-15
問4-△	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	全部	問4-12	問4-16	問4-12	問4-12	問4-16	問4-16	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-13	問4-16	問4-16	問4-16	問4-16
問4-△	スポットワーク導入の課題	全部	問4-13	問4-17	問4-13	問4-13	問4-17	問4-17	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-14	問4-17	問4-17	問4-17	問4-17
問4-△	今後のスポットワークの活用	全部	問4-14	問4-18	問4-14	問4-14	問4-18	問4-18	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-15	問4-18	問4-18	問4-18	問4-18
5 介護支援専門員																				
問5-△	現状における事業所の過不足に対する考え	一部							問5-1	問5-1							問5	問5	問5	
問5-△	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	一部							問5-2	問5-2				問5		問5				
△ 自由記載																				
問△	介護保険制度全般への要望・意見	全部	BB 6	問5	E95	B BE	門后	問5	EBC	問6	問5	問5	BB 6	門品	B BE	問6	門島	門品	門品	問5
	八吱杯恍则反土败、20女主,尽兄	上市	問5	lelo	問5	問5	問5	I IDIO	問6	IDIO	IDJO	Clal	問5	問6	問5		問6	問6	問6	C[a]

①R7訪問介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
1 事業所につ	いて				##소식 医療法 식소년시간 소민소식 라마스닉 *** **
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)
問1-2 問1-3	一部 一部	事業所の所在地 サービスの提供区	事業所の所在地について教えてください サービスの提供区について教えてください	単一 複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
					_ 中央区 北区 東区 日石区 序加区 豆干区 肩田区 附区 四区 子相区 ある(1~3事業所)ある(4~6事業所)ある(7~9事業所)ある(10~15事業所)ある(16事業所
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	以上)ない
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業)
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない
2 サービスの	提供状況等につ	ついて			
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	令和7年10月の1か月に提供したメニューを選択し、その総提供回数および総提供時間をそれ ぞれ入力してください	記述	
問2-1-1		総提供回数			訪問介護(身体介護(回)生活援助(回)通院等乗降介助(回) 訪問型サービス (総合事業)(回)
問2-1-2		総提供時間(移動時間は除く)			訪問介護(身体介護(時間) 生活援助(時間) 通院等乗降介助(時間)) 訪問型 サービス(総合事業)(時間)
					利用者1人あたり1日の「平均提供時間」(時間)利用者1人あたり1日の「最大提供時間」(
問2-2	一部	常勤職員による訪問介護サービスの提供時間	<u>今和7年10月</u> の1か月における、常勤職員の訪問介護サービスの提供時間(移動時間は除く) は、利用者1人あたり1日の平均・最大でそれぞれ何時間ですか	記述	時間) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
問2-3	一部	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	介護サービスの対象外ではあるが、利用者からの要望が多いことは何ですか	複数	玄関前の除雪 簡単な大工仕事 庭の手入れ 年末年始の大掃除 家の中や敷地内のごみの整理や片付け 仏花の購入や仏壇の手入れ 映画鑑賞やお墓参りなどの付き添い 院内介助・通院介助 窓拭き 利用者の家族など利用者以外の方への生活援助 その他(具体的に) 特にない
3 事業所の運	営について				
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事へ の意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供の ための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見があり ましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	一部	介護予防・日常生活支援総合事業の問題点	介護予防サービスまたは介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点はどのよう なことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を 把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けてい ない
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】	記述	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間 における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対	応について				
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および平均在籍年数)をそ		※表形式
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	(各職種それぞれについて)
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
₽]4+- - - <i> </i> D	I		か 中 利 州	記处	

①R7訪問介護事業者調査

対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
		非常勤職員	単一	※表形式
全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
今 郊	へ雑サービフを提供する際昌粉 <i>(</i> 営勤協質)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください。	司法	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~
—		※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの 勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	正处	69歳(名) 70歳以上(名)
			単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
	1 = 1 1 1 1		記載	(歳)
	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
全部	職員数(実人数)		記述	常勤職員(名) 非常勤職員(名)
全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名)必要⇒理由 ()
全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか (3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はな かった
全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えているサービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	しているしていない
	りが町体など。会加させていない理内	【問4-7で「していない」の方のみ】		時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に
土印	が即断形像などへ参加させていない珪田	外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	怪奴	
全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	□ 既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正 規雇用前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職 員の能力についてどの程度満足していますか	記述	
全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に))
全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	
HI	1/2000001 x x 20H/B	/ACC 2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2	7	COUNTRIES OF MANUEL OF AND AUTHOR OF AUT
全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や 札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述	
	全部 全部 全部 全全部 全全部 全全 全全 全全 全全 全全 全全 全全 全全	全部 職員の定着状況 全部 職員募集で効果があった方法 全部 介護サービスを提供する職員数 (常動換算) 全部 定年制度 全部 定年年齢 全部 職員数 (実人数) 全部 職員数の過不足に対する考え 全部 職員に対して行っている配慮 全部 職員を取り巻く状況の変化 (5年前との比較) 全部 職員の給与に対する考え 全部 全部 員を取り巻く状況の変化 (5年前との比較) 全部 職員の給与に対する考え 全部 全部 分部研修などへの職員の参加 全部 外部研修などへ参加させていない理由 全部 スポットワークの活用 全部 スポットワークの活用理由 スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力 全部 全部 スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力 全部 全部 スポットワークでの履興回数・従事内容・職員の能力	全部	会部 国党の定事状系 型面に

②R7訪問入浴介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
1 事業所につい	17			71224	
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	ー ・中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある($1\sim3$ 事業所)ある($4\sim6$ 事業所)ある($7\sim9$ 事業所)ある($10\sim15$ 事業所)ある(16 事業所以上)ない
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方の み】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援 (介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス時間短縮型(総合事業)
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を 支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない
2 サービスの提	提供状況等に1				
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等			
問2-1-1	単独		<u>令和7年10月</u> の1か月あたりの訪問入浴介護サービスの総提供回数は何回ですか	記述	
問2-1-2	一部		職員体制や設備の面から、1か月あたりに訪問入浴介護サービス(介護予防サービスを含む)を提供可能な回数は最大で何回ですか	記述	(0)
3 事業所の運営	について				
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費 が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと 思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方の み】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが 難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサールティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と 協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・ 備品の用意 その他(具体的に)
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えています か	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対応	について				
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および平均在籍年数)をそれぞれ教えてください		※表形式
			常勤職員	記述	(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数(人) 退職者数(人)
			非常勤職員		※表形式
			常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない
			非常勤職員	単一	※表形式
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社 ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)

②R7訪問入浴介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はあります ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人です	記述	常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分であるでさらに職員が必要(名)必要⇒理由()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が 多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) かんだん
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化しています か	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが 減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は 給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘル スに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手(※)を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助(食事、入浴、 排せつ介助など)は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サ ポートを主な業務とする職員(パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職 員)を指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない
問4-11	—部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を 教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他(具体的に) あまり効果は感じられない
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他(具体的に)
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事 したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-16-3	全部		能力	単一	 非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 自由記載					
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般 のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありまし たら、ご自由に入力してください	記述	

③R7訪問看護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答	選択肢
1 事業所に		71112	31.112	形式	
		후뿌고 ^^스타자유	古米ゴの収砕が出った。マルンフィン・ナン	単—	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具
問1-1		事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	-	体的に)
問1-2		事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 ある(1~3事業所)ある(4~6事業所)ある(7~9事業所)ある(10~15事業所)ある(16事業所以上)
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	める (1~3 事業所) める (4~ 6 事業所) める (7~ 9 事業所) める (10~13 事業所) める (10事業所以上) ない
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業) 通所型サービス時間短縮型(総合事業)
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない
2 サービスの	の提供状	に 状況等について	o / exclemy on him many and a control of		
問2-1		令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	令和7年10月の1か月あたりの訪問看護サービスの総提供回数および総提供時間		
	יום		をそれぞれ入力してください	=7\+	
問2-1-1 問2-1-2		総提供回数 総提供時間			医療保険適用 (回) 介護保険適用 (回) (介護予防サービスを含む) 医療保険適用 (時間) 介護保険適用 (時間) (介護予防サービスを含む)
問2-1-2			 介護サービスの対象外ではあるが、利用者からの要望が多いことは何ですか		
			余命が数か月~半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取	1	
問2-3	一司	ターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験の有無	り)に取り組んだ経験がありますか	平一	
問2-4	一部	ターミナルケア(看取り)についての考え	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が 整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している
問2-5	—部	ターミナルケア(看取り)を可能とするために必要な条件	【問2-4で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だと考 えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と 家族の協力 ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス (訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を 気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)
3 事業所の	運営につ	かいて			
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲 を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員 の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための 経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具 体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思う か、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握する
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門 家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	See mind of the first of the fi
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-5-3		災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への	対応につ	PIT			
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および平均 在籍年数)をそれぞれ教えてください		※表形式
問4-1-1-ア-A			常勤職員		(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数 (人) 退職者数 (人)
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A			常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式

③R7訪問看護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自 社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A		定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	
			【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか		
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員 (名) 非常勤職員 (名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名)必要⇒理由 ()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと 考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職 員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	 外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に
D]4-0	ᆂ마		外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	1友女人	
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関す る研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メン タルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に 関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます		活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用 前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事 したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に
問4-12-3	全部		能力	単一	/ 非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-13		スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか		信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-14	全部	 今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか		ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 自由記載					
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述	

④R7訪問リハビリテーション事業者調査

設問№	 対象		設問内容	回答	選択肢
		以问题目	以问付台	形式	送 九放
1 事業所につ					
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある(1~3事業所) ある(4~6事業所) ある(7~9事業所) ある(10~15事業所) ある(16事業所以上) ない
問1-5	—部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業) 通所型サービス時間短縮型(総合事業)
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援する サービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	あるない
2 サービスの)提供状況等				
問2		令和7年10月の1か月あたりの総提供回数			
問2-1	一部	総提供回数	ですか	記述	医療保険適用(回)介護保険適用(回)
問2-2	一部	最大提供回数	職員体制や設備の面から、1か月あたりに訪問リハビリテーションサービス(介護予 防サービスを含む)を提供可能な回数は最大で何回ですか	記述	
3 事業所の週	運営について				
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご 意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	—部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量 (需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に 利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合があ る その他(具体的に)
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における 緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割 分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対	対応について				
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および平均在籍 年数)をそれぞれ教えてください	記述	※表形式
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	(各職種それぞれについて)計画どおり採用できている計画どおり採用できていない採用計画はない採用人数 (人)退職者数 (人)
問4-1-1-ア-B 問4-1-1-イ-A	全部	 職員の定着状況	非常勤職員 常勤職員	記述 単一	※表形式 良い 比較的良い あまり良くない 良くない
同4-1-1-1 -A 問4-1-1-イ-B	土山	概長少た自仏ル			投い 丘戦的投い あまり良くない 良くない
1-5. 1 1 1 - 5			7.1 - 10 - 27 - 27 - 27 - 27 - 27 - 27 - 27 - 2		THE POLICE VIEW

④R7訪問リハビリテーション事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき 週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員(名) 非常勤職員(名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要(名)必要⇒理由()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去 1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケー ションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の 職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事 の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が 得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する 研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発 生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的 に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	しているしていない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他 (具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する 研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する 研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することを いいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人 員補充 正規雇用前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事した か、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他 (具体的に
問4-12-3	全部		能力	単一	大学体的に
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか		信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無いその他(具体的に)
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 自由記載 問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今 回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力し てください	記述	

⑤R7通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容サービス利用者が通ってくる主な範囲	回答 形式	選択肢
1 事業所につ	いて			717-0	
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-4	単独	提供しているサービスの種類	提供しているサービスの種類について教えてください	単一	通所介護 通所リハビリテーション 地域密着型通所介護
問1-5	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある(1~3事業所) ある(4~6事業所) ある(7~9事業所) ある(10~15事業所) ある(16事業所以上) ない
問1-6	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-6 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業)
問1-7	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援する サービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない
2 サービスの	- 提供状況等に	について			
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	<u>令和7年10月</u> の1か月間における、サービス(介護予防サービスを含む)の提供状況 等について教えてください	記述	延べ利用者数(人)利用定員(人)営業日数(日)
問2-2	一部	サービス利用者が通ってくる主な範囲	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。最も多いものを教 えてください	単一	徒歩圏内 車で15分未満 車で15分以上30分未満 車で30分超
問2-3	一部	現在のサービス提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供 おやつ提供 入浴 送迎 身体を動かす内容(レクリエーション・体操など) ゲームや趣味、創作活動 音楽活動 介護予防による運動機能向上メニュー 介護予防による栄養改善メニュー 介護予防による口腔機能向上メニュー 理学療法士や 作業療法士によるリハビリテーション 健康チェック(体温・血圧測定など) 生活相談 その他(具体的に)
3 事業所の運	営について				
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域 (町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経 費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的 に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思う か、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	一部	介護予防・日常生活支援総合事業の問題点	介護予防サービスまたは介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点 はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けていない
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して 解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-5	—部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活 動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていま すか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-6-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 地域住民と の協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その 他(具体的に)
問3-6-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-6-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対	応について				
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および平均在籍		※表形式
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数 (人) 退職者数 (人)
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	*表形式
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
lij4-1-1- -A 問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式
	<u> </u>			· ·	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームペー
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数 	ジ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)

⑤R7通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護事業者調査

設問№		設問趣旨	設問内容サービス利用者が通ってくる主な範囲	回答	選択肢
	7320		介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお	形式	~7/5
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』+『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	 記載	(歳)
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要(名)必要⇒理由()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考え ていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知 症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具 体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知 症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手(※)を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助(食事、入浴、排せ つ介助など)は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポートを主 な業務とする職員(パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員)を指しま す。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他(具体的に) あまり効果は感じられない
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない
問4-13	—部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護 助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他(具体的に)
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することを いいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な 雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事した か、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-16-3	全部		能力	単一	ま常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩 雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	せひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
	- 프바	/ A 2 2 3 3 7 1 7 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/ IX. XIII / Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z	T	CONTINUE NAME OF CALIFORN AND VALUE OF AND V
5 自由記載					
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今 回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力し てください	記述	

⑥R7短期入所生活介護、短期入所療養介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
1 事業所につ	いて			7.0 = 0	
 問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に
				H4	
問1-2 問1-3		事業所の所在地 サービスの提供区	事業所の所在地について教えてください サービスの提供区について教えてください	年一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3 問1-4		提供しているサービスの種類	提供しているサービスの種類について教えてください		ヤスピールピー米ピーロイビータがピー豆干ビーガロビードビーロビーチ相ビー 短期入所生活介護 短期入所生活介護 短期入所療養介護
問1- 5 問1-5		併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある($1\sim3$ 事業所) ある($4\sim6$ 事業所) ある($7\sim9$ 事業所) ある($10\sim15$ 事業所) ある(16 事業所以上) ない
問1-6		併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-5 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護 予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問 介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅 介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業) 通所型サービス時間短縮型(総合事業)
問1-7 2 サービスの		併設する高齢者共同住宅の有無 について	併設する高齢者共同住宅はありますか	単一	ある ない
2) () (INCIVING 43				
問2-1-1	単独	ショートステイの事業形態	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 ショートステイの事業形態について教えてください 「1.専用床型」を選択された場合は、そのベッド数を具体的に入力してください	単一	専用床型(ベッド数 床) 空床利用型
問2-1-2		令和7年8月~10月の3か月間の延べ利用日数	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 <u>令和7年8月~10月</u> の3か月間に利用があったものを選択し、その延べ利用日数を それぞれ入力してください		ショートステイ(日) ショートステイ専用床を、特別養護老人ホーム床として一時的に活用(日)
問2-1-3	単独	専用床を増やす予定の有無	【問2-1-1で「専用床型」の方のみ】 今後、令和8年度までにショートステイ専用床を増やす予定はありますか 【増やす予定がある場合】その増床数を具体的に入力してください	単一	増やす予定がある(床増加) 増やす予定はない
問2-1-4	単独	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	【問2-1-1で「空床利用型」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか	単一	意向はある 意向はない
問2-2-1		令和7年8月~10月の3か月間の延べ利用日数	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 <u>令和7年8月~10月</u> の3か月間のショートステイの延べ利用日数は何日ですか(介 護予防サービスを含む)		(日)
問2-2-2	単独	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか	単一	意向がある 意向はない
3 事業所の運	営について	'			
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができないその他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が 報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、 ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサル ティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-5		夜間勤務体制(夜勤職員の配置)	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置
問3-6	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述	
問3-7	—部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行ってい ますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域 住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品 の用意 その他(具体的に)
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-8-3		災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急 連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対	応について				w±w-4
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および平均在		※表形式 (名際籍それぞれについて)
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数(

⑥R7短期入所生活介護、短期入所療養介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A 問4-1-1-イ-B	全部		常勤職員 非常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない ※表形式
問4-1-1-1 -B 問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	新品 到職員 職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホー
1-51 1 2		THE STATE OF THE S	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数を	1220	ムページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	お答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
	A +B		週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です		
問4-1-3-イ		定年制度定年年齢	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか		定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A 問4-1-3-イ-B		走年午脚 定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか 【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	記載	(歳) ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ		職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか		常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-工		職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名) 必要⇒理由 ()
			※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由 過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考		給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	えていますか(3つ以内)	複数	育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給 与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに 関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関す る研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	 外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	しているしていない
問4-8	全部	 外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】	複数	 時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか 職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手(※)を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助(食事、入浴、排 せつ介助など)は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポー トを主な業務とする職員(パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員)を 指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他(具体的に) あまり効果は感じられない
問4-12	一部	 介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない
問4-13	一部	/ 介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてくださ		予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者
問4-14		スポットワークの活用	い いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼すること をいいます	単一	に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他(具体的に) 活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	 既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試 用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事し たか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		市町は雇用(抹用泊割) ての他(具体的に)
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足がや満足がや不満が非常に不満
問4-17		スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 自由記載					
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、 今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入 力してください	記述	

⑦R7居宅介護支援事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答	選択肢
1 事業所につ		20022	200.00	形式	,,
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	4-	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会 社 その他(具体的に)
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3 問1-4	一部 一部	サービスの提供区 併設する介護保険サービス事業所の有無	サービスの提供区について教えてください 併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 ある(1~3事業所)ある(4~6事業所)ある(7~9事業所)ある(10~15事業所)ある(16
問1-4	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与特定福祉用具販売 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業) 通所型サービス時間短縮型(総合事業)
問1-6	—部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢 者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない
2 サービスの	提供状況等	について			
問2-1	単独	介護予防支援事業所の指定の有無	貴事業所は、介護予防支援事業所の指定を受けていますか	単一	指定を受けている 指定を受けていない
問2-2	単独	介護支援専門員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	令和7年10月の1か月間に作成したものを選択し、介護支援専門員1 人あたりの平均ケアプラン作成件数をそれぞれ入力してください	記述	要介護1・2の方を対象としたケアプラン(件) 要介護3~5の方を対象としたケアプラン(件)(※ 小数点第2以下は四捨五入してください)
問2-3	単独	ケアプランを作成している要支援1・2の方の利用者数	【問2-1で「指定を受けている」のみ】 令和7年10月の1か月間にケアプランを作成している要支援1・2の 利用者数の合計を教えてください(地域包括支援センターからの再委 託を除く)	単一	(人)
問2-4-1	一部	ターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験の有無	余命が数か月〜半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない
問2-4-2	単独	直近1年間の看取り件数	【問2-2-1で「ある」の方のみ】 直近1年間で何件ありましたか	記述	
問2-5	一部	ターミナルケア(看取り)についての考え	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上 一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの 段階まで援助している
問2-6	一部	ターミナルケア(看取り)を可能とするために必要な条件	【問2-2~5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が 必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の 希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関 わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)
3 事業所の週	営について				
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の 仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態に そぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医 療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はな
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス 提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者 の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよ いと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「指定を受けている」方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)

⑦R7居宅介護支援事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方の み】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えてい ますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対	応について				
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況	記述	※表形式
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	(各職種それぞれについて)計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない採用人数 (人) 退職者数 (
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員		※表形式
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会 社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名)30~39歳(名)40~49歳(名)50~59歳(名) 60~69歳(名)70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか		定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はあり		
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人 ですか	記述	常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名)必要⇒理由 ()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は 何が多いと考えていますか(3つ以内)		給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内 の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化してい ますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も 行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか		介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に

⑦R7居宅介護支援事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
			ー いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことが	71220	
問4-10	全部	スポットワークの活用	ありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を 依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補 充 正規雇用前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような 業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足しています か		
問4-12-1	全部		雇用回数		雇用回数(回)
問4-12-2	全部		従事内容		入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具 体的に)
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方の み スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか		信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他 (具体的に)
問4-14	全部	 今後のスポットワークの活用		単一	(美体的に
5 介護支援			The state of the s		
問5-1	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護(予防)サービスの現状において、事業所の過不足についてどの		※表形式
問5-1-1			訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-2			訪問入浴介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-3			訪問看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-4			訪問リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-5 問5-1-6			居宅療養管理指導 通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない 多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-6			通所リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-8			短期入所生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-9			短期入所療養介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-10			特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-11			福祉用具貸与		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-12			特定福祉用具販売		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-13			介護老人福祉施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-14			介護老人保健施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-15			介護医療院		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-16			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-17			夜間対応型訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-18			地域密着型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-19 問5-1-20			認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない 多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-20			認知症対応型共同生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-21			地域密着型特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-23			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-24			看護小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-25			居宅介護支援		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-26			訪問型サービス(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-27			通所型サービス(総合事業)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-28			通所型サービス時間短縮型(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-2	一部	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか		アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域(町内会や民生委員など)との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿ったサービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他(具体的に)特にない
6 自由記載			A SHAPTHAN THAT I HALL A SHAPTHAN		
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度 全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見が ありましたら、ご自由に入力してください		

⑧R7地域包括支援センター

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
 事業所について 問1-1 	——部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単—	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他
問1-2		事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	(具体的に) 中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
2 サービスの提供状況		事業別の別性地	争未がのが任他にういく教えてください	_ + _	
問2-1	単独	専門職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	令和7年10月の1か月間に専門職員が作成したものを選択し、その平均作成件数(直営分)のみをそれぞれ入力してください	営 記述	要支援1の方を対象としたケアプラン(件)要支援2の方を対象としたケアプラン(件)事業対象者の方を対象としたケアプラン(件) (※ 算出に当たり、非常勤職員が含まれる場合は『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』で常勤換算のうえ算出してください) ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください
問2-2	単独	予防支援担当者職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	令和7年10月の1か月間に予防支援担当職員(プランナー)が作成したものを選択し、 その平均作成件数(直営分)のみをそれぞれ入力してください	記述	要支援1の方を対象としたケアプラン(件) 要支援2の方を対象としたケアプラン(件) 事業対象者の方を対象としたケアプラン(件) (※ 算出に当たり、非常勤職員が含まれる場合は『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』で常勤換算のうえ算出してください) ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください
3 事業所の運営につ	いて				「利田女士」、ウザングとの演権シャが囲むが難し、「大社女子が難し」、「韓兄がウギしたノ」、「韓兄の仏事」の奇姿
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための 経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具 体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意 見がありましたら具体的に入力してください	5 記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	—部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】	記述	家と励成して呼次している。上記3つの方法を治用しても呼次できない場合が必る。その他(共体的に)
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	その内容をできるだけ具体的に入力してください 災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
4 職員への対応につ	いて		次日元工時に備えて、心域との励力仲間についてとのように与えているすり		
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況および平均在籍年数	t l	
 問4-1-1-ア-A	 単独	採用状況、採用・退職人数	をそれぞれ教えてください	記述	(各職種それぞれについて)
問4-1-1-ア-B			予防支援担当職員	記述	
問4-1-1-ア-C	777.AT	TM C a da 44 (1) C	事務職員	記述	/ # TANGET 7 - 7 - 1 - 1 - 1 - 1
問4-1-1-イ-A 問4-1-1-イ-B	単独	職員の定着状況	専門職員 予防支援担当職員	単一単一	(各職種それぞれについて)
問4-1-1-イ-C			事務職員	単一	
問4-1-1-ウ-A	単独	平均在籍年数	専門職員	記述	(各職種それぞれについて)
問4-1-1-ウ-B			予防支援担当職員		
問4-1-1-ウ-C 問4-1-2			事務職員 職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	
	—————————————————————————————————————				社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア		介護サービスを提供する職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答	<u> </u>	 職員数(常勤換算)(名)
問4-1-3-ア	全部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。	記述	うち29歳以下 (名) 30~39歳 (名) 40~49歳 (名) 50~59歳 (名) 60~69歳 (名) 70歳以上 (名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-ウ	単独	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。		」現状の職員数で十分である さらに職員が必要(名)必要⇒理由()
問4-1-3-ウ-A		過不足(専門職)			_
問4-1-3-ウ-B		過不足(予防支援担当職員)		-	 給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	週去1年间に、貝事業所から返輸された職員の方々の主な返輸珪田は何か多いと考えていますか(3つ以内)	複数	福子 祝ガ時间や休暇などの勤務余件 城場環境 城場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった 基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故につい
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	本名は外の子ヨを支給している 健康診断等 (定期健康診断以外) を実施している 通勤時や移動時の事故にづいての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない

⑧R7地域包括支援センター

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	しているしていない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に
12,7 0		The state of the s	外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	1220	
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをい います	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用 前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事した か、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4.40.0	△郊			/	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助
問4-12-2	全部		従事内容	複数	医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	│ 信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契 │ 約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-14	全部	 今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	
5 介護支援専門員の		/ John Committee of the	TEXT TO STATE OF CHERT OF STATE OF STAT	<u> </u>	TO INTERIOR VIAMORE VI
問5-1	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護(予防)サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていま		※表形式
問5-1-1			訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-2			訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-3			訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-4 問5-1-5			訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導	単一単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない 多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-6			通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-7			通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-8			短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-9			短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-10			特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-11 			福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-12			特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-13 問5-1-14			居宅介護支援 介護予防支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
问5-1-14 問5-1-15			介護老人福祉施設	単一単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-16 問5-1-16			介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-17			介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-18			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-19			夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-20			地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-21			認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-22 問5-1-23			小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護	単一単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-23 問5-1-24			地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-25			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-26			看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-27			訪問型サービス(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-28			通所型サービス(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-29			通所型サービス時間短縮型(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-2	一部	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が 十分に機能していない 地域(町内会や民生委員など)との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望 に沿ったサービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に 評価されていない その他(具体的に) 特にない
6 自由記載					
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回 の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してく		

⑨R7定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
1 事業所につ	いて			115116	
問1-1	—部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に
				<u> </u>	
問1-2	一部 一部	事業所の所在地 サービスの提供区	事業所の所在地について教えてください サービスの提供区について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3 問1-4	単独	すーとスの提供区 事業所の形態について教えてください	事業所の形態について教えてください	複数 単一	中央区 北区 宋区 日石区 序加区 壹千区 月田区 附区 四区 于相区 一体型 連携型
問1-5	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	サ来州の形態について教えてください 併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		
問1-6	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-5 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護 予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 夜間対応型訪問介護 地域 密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業)通所型サービス(総合事業)
問1-7	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか	単一	ある ない
2 サービスの	提供状況等に	こついて			
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	令和7年10月の1か月あたりの定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス の総提供回数および延べ提供人数を教えてください		
問2-1-1		総提供回数		記述	「定期巡回」による「訪問介護」サービスの総提供回数(回)
問2-1-2		延べ提供人数		記述	「定期巡回」による「訪問介護」サービスの延べ提供人数(人) 「随時訪問」による「訪問介護」サービスの延べ提供人数(人) 「定期巡回」による「訪問看護」サービスの延べ提供人数(人) 「随時訪問」による「訪問看護」サービスの延べ提供人数(人)
問2-2-1	一部	常勤職員によるサービスの平均提供回数	<u>令和7年10月</u> の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の平均提供回数は何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「平均提供回数」(回) ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください
問2-2-2	一部	常勤職員によるサービスの最大提供回数	<u>今和7年10月</u> の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の最大提供回数は平均で何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「最大提供回数」(回) ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください
問2-3	一部	随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間	<u>令和7年10月</u> の1か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	最長移動時間(分) 最短移動時間(分) 平均移動時間(分)) 最長サービス提供時間(分) 最短サービス提供時間(分) 平均サービス提供時間(分) ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください
問2-4	一部	ターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験の有無	余命が数か月〜半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない
問2-5	一部	ターミナルケア(看取り)についての考え	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整え ば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している
問2-6	一部	ターミナルケア(看取り)を可能とするために必要な 条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だ と考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)
3 事業所の運	営について				
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができないその他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が 報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思 うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサル ティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協 議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-4	一部	夜間勤務体制(夜勤職員の配置)	その内容をできるにけ具体的に入力してください	単一	 基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置
問3-5	—————————————————————————————————————	夜間の人員体制についての自由記載	で意見などがありましたら、ご自由に入力してください	单一 記述	坐十しのラッハ妖 (
問3-6	一部		利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を 行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に危機関係を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者であると連携して、地域と交流する機会を設
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない 災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域

⑨R7定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問3-7-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-7-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急 連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対応	なについて				
問4-1-1	-	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および 平均在籍年数)をそれぞれ教えてください		※表形式
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数 (人) 退職者数 (人)
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア		介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です		職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名)30~39歳(名)40~49歳(名)50~59歳(名) 60~69歳(名)70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか		定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか		ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である。さらに職員が必要(名)必要⇒理由()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・ 育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに 関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関す る研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに 関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラス メントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に
			いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありま		
問4-10	全部	スポットワークの活用	すか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼す ることをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試 用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に 従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-12-1	全部		雇用回数		雇用回数(回)
問4-12-2	全部		従事内容		入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助
問4-12-3	全部		能力		非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ		信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 自由記載		T			
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般の ほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありました ら、ご自由に入力してください	記述	

⑩R7夜間対応型訪問介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
1 事業所にこ	ついて				
問1-1	部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に
問1-2	部	 事業所の所在地	 事業所の所在地について教えてください	単一	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください"	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護 予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問 介護看護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス (総合事業) 通所型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業)
問1-6		併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか	単一	ある ない
2 サービスの	の提供状況		◆和フケ40日の1か日ももりの左眼対応刑計明人選出 ビフの処担供同数と	1	
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	令和7年10月の1か月あたりの夜間対応型訪問介護サービスの総提供回数および延べ提供人数を教えてください	記述	
問2-1-1		総提供回数			定期巡回(回)随時訪問(回)
問2-1-2		延べ提供人数			定期巡回(人) 随時訪問(人)
問2-2-1	部	常勤職員によるサービスの平均提供回数	令和7年10月の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数に	記述	利用者1人あたり1日の「平均提供回数」(回)
			ついて、利用者1人あたり1日の平均提供回数は何回ですか <u>令和7年10月</u> の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数に		※ 小数点第2位以下は四捨五入してください 利用者1人あたり1日の「最大提供回数」(回)
問2-2-2	一部	常勤職員によるサービスの最大提供回数	<u>5447年10月</u> の1か月において、常動職員が▲▲サービスを提供した凹数に ついて、利用者1人あたり1日の最大提供回数は平均で何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「最大提供回数」(回) ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください
問2-3	一部	随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間	<u>令和7年10月</u> の1か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	最長移動時間(分) 最短移動時間(分) 平均移動時間(分) 最長サービス提供時間(分) 最短サービス提供時間(分) 平均サービス提供時間(分) ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください
3 事業所の選	運営につい	7			
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができないその他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が 報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思 うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサル ティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	BO CHINO CO & TELO DOMA CAMBO COMPACTOR OF C
問3-4	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行ってい る活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急 連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対	L 対応につい				,
問4-1-1	J, 10.10 5 0 1	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および 平均在籍年数)をそれぞれ教えてください	記述	※表形式
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数(人) 退職者数(人)

⑩R7夜間対応型訪問介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A	全部	†	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか 現状の際見がもいる。ようにおうますが	記述	常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名)必要⇒理由 ()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・ 育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	るその他(具体的に
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給 与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに 関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関す る研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに 関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラス メントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼す	単一	 活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	ることをいいます 【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	 既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試 用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に 従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足のやや満足のやや不満の非常に不満
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 自由記載					
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般の ほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありました ら、ご自由に入力してください	記述	

⑪R7認知症対応型通所介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
1 事業所につ	ついて				
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある($1\sim3$ 事業所) ある($4\sim6$ 事業所) ある($7\sim9$ 事業所) ある($10\sim15$ 事業所) ある(16 事業所以上) ない
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護 予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問 介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型 特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス (総合事業) 通所型サービス (総合事業) 通所型サービス (総合事業)
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支 援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない
2 サービスの	の提供状況等	について		<u>'</u>	
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	<u>令和7年10月</u> の1か月間における、サービス(介護予防サービスを含む)の 提供状況等について教えてください	記述	延べ利用者数(人)利用定員(人)営業日数(日)
問2-2	一部	サービス利用者が通ってくる主な範囲	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。最も多い ものを教えてください		徒歩圏内 車で15分未満 車で15分以上30分未満 車で30分超
問2-3	—部	現在のサービス提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供 おやつ提供 入浴 送迎 身体を動かす内容(レクリエーション・体操など) ゲームや趣味、創作活動 音楽 活動 介護予防による運動機能向上メニュー 介護予防による栄養改善メニュー 介護予防による口腔機能向上メニュー 理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション 健康チェック(体温・血圧測定など) 生活相談 その他(具体的に
3 事業所の過	」 軍営について				, and the second
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができないその他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が 報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	—部	介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「指定を受けている」方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサル ティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-5	—部		利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を 行っていますか	一部	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-6-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域 住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品 の用意 その他(具体的に)
問3-6-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
4 職員への対	対応について				
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および 平均在籍年数)をそれぞれ教えてください	記述	※表形式
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数(
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)

⑪R7認知症対応型通所介護事業者調査

設問№	 対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の 人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務 すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要(名)必要⇒理由()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるも の	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・ 育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に)特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	 貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか 	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給 与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに 関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに 関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラス メントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に
			いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありま		
問4-10	全部	スポットワークの活用	すか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼す ることをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試 用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能 力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に 従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足のやや満足のやや不満の非常に不満
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 自由記載					
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般の ほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありました ら、ご自由に入力してください	記述	

⑬R7認知症対応型共同生活介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
1 事業所につい	いて				
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区北区東区白石区厚別区豊平区清田区南区西区手稲区
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある(1~3事業所)ある(4~6事業所)ある(7~9事業所)ある(10~15事業所)ある(16事業所以上)
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業)
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか	単一	ある ない
2 サービスの拐	提供状況等に1	ついて			
問2-1	単独	事業所(施設)の定員、入所者の状況	<u>令和7年11月1日</u> 現在における、事業所(施設)の定員および入所(入居)者の 状況についてお答えください(短期入所生活介護分を除く) ※入所(入居)者には一時入院中の方を含みます		
問2-1-1		定員	定員		全体 (人)
問2-1-2		ユニット数	ユニット数		全体(ユニット)
			要支援 2		全体(名) うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護1		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護 2		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護3		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護 4		全体(名) うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護 5		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
問2-2	——部	ターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験の有無	余命が数か月~半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取	単一	ある ない
PJZ-Z	מום	ターミアルグラ (有取り) に取り組んた経験の有無	り)に取り組んだ経験がありますか	#_	
問2-3	一部	ターミナルケア(看取り)についての考え	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している
問2-4	一部	ターミナルケア(看取り)を可能とするために必要な条 件	【問2-2で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だと考 えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と 家族の協力 ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス (訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を 気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)
3 事業所の運営	信について				
					利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-1	全部全部	事業所運営に関する問題点 介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数 複数	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対す る情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員
			【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください		を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】	複数	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具
問3-1-2	全部全部	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	複数記述	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-2 問3-1-3 問3-1-3	全部全部	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算 地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	複数 記述 記述	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に) サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に) 特に問題はない 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない 相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-1-2 問3-1-3 問3-1-3 問3-2	全部 全部 全部 一部	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算 地域・医療との連携が難しい理由 介護予防サービスの問題点	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思う か、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数 記述 複数	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-2 問3-1-3 問3-1-3 問3-2 問3-3	全部 全部 全部 一部	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算 地域・医療との連携が難しい理由 介護予防サービスの問題点 サービスの質の向上のために行っている取組	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数 記述 複数 複数	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-2 問3-1-3 問3-1-3 問3-2 問3-3 問3-4-1 問3-4-2 問3-5	全部 全部 全部 一 全部 全部 一 全部	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算 地域・医療との連携が難しい理由 介護予防サービスの問題点 サービスの質の向上のために行っている取組 サービス利用に関する苦情解決の方法 解決できない問題 夜間勤務体制(夜勤職員の配置)	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか 【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】	複数記述複数複数記述	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-2 問3-1-3 問3-1-3 問3-2 問3-3 問3-4-1	全部 全部 全部 一部 全部 全部	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算 地域・医療との連携が難しい理由 介護予防サービスの問題点 サービスの質の向上のために行っている取組 サービス利用に関する苦情解決の方法 解決できない問題	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか 【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	複数 記述 複数 複数 複数 記述	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-2 問3-1-3 問3-1-3 問3-2 問3-3 問3-4-1 問3-4-2 問3-5	全部 全部 全部 一 全部 全部 一 全部	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算 地域・医療との連携が難しい理由 介護予防サービスの問題点 サービスの質の向上のために行っている取組 サービス利用に関する苦情解決の方法 解決できない問題 夜間勤務体制(夜勤職員の配置) 夜間の人員体制についての自由記載	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか 【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください 夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください	複数記述複数複数記述	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-2 問3-1-3 問3-1-3 問3-2 問3-3 問3-4-1 問3-4-2 問3-5 問3-6	全部 全 全 一一	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算 地域・医療との連携が難しい理由 介護予防サービスの問題点 サービスの質の向上のために行っている取組 サービス利用に関する苦情解決の方法 解決できない問題 夜間勤務体制(夜勤職員の配置) 夜間の人員体制についての自由記載	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか 【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください で間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	複数 記述 複数 複数 記 単記述	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に) 特に問題はない 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない 相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に同も行っていない事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-1-2 問3-1-3 問3-1-3 問3-2 問3-3 問3-4-1 問3-4-2 問3-5 問3-6	全 全 一 全 全 一 一 一	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算 地域・医療との連携が難しい理由 介護予防サービスの問題点 サービスの質の向上のために行っている取組 サービス利用に関する苦情解決の方法 解決できない問題 夜間勤務体制(夜勤職員の配置) 夜間の人員体制についての自由記載 利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか 【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください 夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください 利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数 記述 複数 複数 記単記 複数 述一述	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-2 問3-1-3 問3-1-3 問3-2 問3-3 問3-4-1 問3-4-2 問3-5 問3-6	全全全一全全全一一一全全	介護報酬が実態にそぐわない理由 新たに設置を希望する加算 地域・医療との連携が難しい理由 介護予防サービスの問題点 サービスの質の向上のために行っている取組 サービス利用に関する苦情解決の方法 解決できない問題 夜間勤務体制(夜勤職員の配置) 夜間の人員体制についての自由記載 利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動 災害発生の備えとして既に取り組んでいること	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください 【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください 【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか 【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください 夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	複数 記	を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない 加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に) 制用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない 和脱窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない 事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に) 基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置 「行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事 (盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない 災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)

⑬R7認知症対応型共同生活介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および平均 在籍年数)をそれぞれ教えてください		※表形式
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	(各職種それぞれについて)計画どおり採用できている計画どおり採用できていない採用計画はない採用人数 (人)退職者数 (人)
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員(名) 非常勤職員(名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名)必要⇒理由()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと 考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】	 複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に
PJ T O		THE WIND CO. TO MICE CO. SO VICE	外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	12.00	
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼するこ とをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用 前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事 したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に
問4-12-3	全部		能力	単一	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	 複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 自由記載					
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述	

⑫R7小規模多機能型居宅介護事業者調査

1 事業所にで 問1-1 問1-2 問1-3 問1-4 問1-5 問1-6 2 サービスの 問2-1	一部 一部 一部 一部	事業所の経営形態 事業所の所在地 サービスの提供区 併設する介護保険サービス事業所の有無 併設する事業所が提供している介護保険サービス	事業所の経営形態について教えてください 事業所の所在地について教えてください サービスの提供区について教えてください 併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください 【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数 単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に) 中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 カス 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 ある (1~3事業所) ある (4~6事業所) ある (7~9事業所) ある (10~15事業所) ある (16事業所以上) ない
引1-1 引1-2 引1-3 引1-4 引1-5 引1-6 2 サービスの 引2-1	一部 一部 一部 一部	事業所の所在地 サービスの提供区 併設する介護保険サービス事業所の有無	事業所の所在地について教えてください サービスの提供区について教えてください 併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください 【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の 方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてく	単一 複数 単一	に) 中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 ある(1~3事業所)ある(4~6事業所)ある(7~9事業所)ある(10~15事業所)ある(16事業所以上)ない
問1-2 問1-3 問1-4 問1-5 問1-6 2 サービス <i>0</i> 問2-1	一部 一部 一部	事業所の所在地 サービスの提供区 併設する介護保険サービス事業所の有無	サービスの提供区について教えてください 併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください 【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の 方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてく	複数 単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 ある(1~3事業所)ある(4~6事業所)ある(7~9事業所)ある(10~15事業所)ある(16事業所以上)ない
引1-3 引1-4 引1-5 引1-6 2 サービスの 引2-1	一部 一部 一部	サービスの提供区 併設する介護保険サービス事業所の有無	サービスの提供区について教えてください 併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください 【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の 方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてく	複数 単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 ある(1~3事業所)ある(4~6事業所)ある(7~9事業所)ある(10~15事業所)ある(16事業所以上)ない
引1-4 引1-5 引1-6 <u>サービス<i>0</i></u> 引2-1	一部 一部 一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください 【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の 方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてく	単一	ある(1~3事業所) ある(4~6事業所) ある(7~9事業所) ある(10~15事業所) ある(16事業所以上) ない
引1-5 引1-6 2 サービス <i>0</i> 引2-1	一部 一部		【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の 方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてく		
問1-6 2 サービス <i>0</i> 問2-1	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてく		訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション
2 サービス <i>0</i> 問2-1				複数	短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応 型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 認知症対応型共同生活介護 地域
2 サービス <i>0</i> 閉2-1					密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型 サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業) 通所型サービス時間短縮型(総合事業)
归2-1	提供状況等に	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高 齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	あるない
		ついて			
問2-2	一部	令和7年10月1日現在の登録者数	令和7年11月1日現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか(要支援1・2を含む)	記述	 登録者数(名) うち併設する高齢者共同住宅の利用者数(名)
	一部	訪問看護の利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、 訪問看護の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何 名ですか(要支援1・2を含む)	記述	 訪問看護の利用者数(名) うち併設する高齢者共同住宅の利用者数(名)
問2-3	一部	令和7年10月の1か月の延べ利用回数	<u>令和7年10月</u> の1か月間の延べ利用回数は何回ですか。通い、泊り、訪問介護のそれぞれについて教えてください(介護予防サービスを含む)	記述	「通い」の延べ利用回数(回)「泊り」の延べ利用回数(回)「訪問介護」の延べ利用回数(回)
3 事業所の選	営について				
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があると よいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思います か	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	ルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
喝3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と 協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
引3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
引3-5	一部	夜間勤務体制(夜勤職員の配置)	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置
問3-6 問3-7	一部 一部	夜間の人員体制についての自由記載 利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください 利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような 活動を行っていますか	記述 複数	 行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方の み】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えて いますか		現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
4 職員への対	応について	<u> </u>			
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況 (および平均在籍年数)をそれぞれ教えてください		※表形式
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員		(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数(人) 退職者数(人)
			非常勤職員	1 ==	※表形式

⑫R7小規模多機能型居宅介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員		良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社 ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です		職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名)30~39歳(名)40~49歳(名)50~59歳(名) 60~69歳(名)70歳以上(名)
問4-1-3-イ 問4-1-3-イ-A	全部 全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか 【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	単一記載	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける) (歳)
同4-1-3-1 -A 問4-1-3-イ-B	全部	上十十郎 定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はあ		(
			※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載 介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何		
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	人ですか 現状の職員数をどのように考えますか。		常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である。さらに職員が必要(名)必要⇒理由()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由 は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出 産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化して いますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが 減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は 給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか 【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の 試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 介護支援専	門員の意見に	こついて			マレフスント 今日ウルードラミ 素の作品・ガロ古来ジャル・バッチ 日ウル・バーミ エキに がっと カー・ナー・
問5	一部	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはあります か	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に 機能していない 地域(町内会や民生委員など)との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿った サービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されてい ない その他(具体的に) 特にない
6 自由記載					
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください		

⑭R7看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
1 事業所につい	ハて				
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他 (具体的に)
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある($1\sim3$ 事業所) ある($4\sim6$ 事業所) ある($7\sim9$ 事業所) ある($10\sim15$ 事業所) ある(16 事業所以上)ない
問1-5	—部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください"	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居 宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模 多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施 設入居者生活介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業) 通所型サービス時間短縮型(総合事業)
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支 援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない
2 サービスの打	是供状況等	等について こうしゅう			
問2-1	一部	令和7年11月1日現在の登録者数	<u>令和7年11月1日</u> 現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか	記述	登録者数 (名) うち併設住宅利用者 (名)
問2-2	一部	訪問看護の利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、訪問看護 の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか	記述	訪問看護利用者数(名)うち併設住宅利用者数(名)
問2-3	一部	令和7年10月の1か月の延べ利用回数	<u>令和7年10月</u> の1か月間の延べ利用日数は何日ですか。通い、泊り、訪問介護、訪問看護のそれぞれについて教えてください	記述	通い(日)泊り(日)訪問介護(日)訪問看護(日)
問2-4	一部	ターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験の有無	余命が数か月〜半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない
問2-5	一部	ターミナルケア(看取り)についての考え	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件 が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している
問2-6	一部	ターミナルケア(看取り)を可能とするために必要な 条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だ と考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認 と家族の協力 ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や 疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)
3 事業所の運	営について	C			
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意 欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に 対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおり に職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のため の経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他 (具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思 うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	

⑭R7看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問3-4	一部	夜間勤務体制(夜勤職員の配置)	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述	
問3-6	—部		利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を 行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に
問3-7-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
4 職員への対応	なについて				
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および 平均在籍年数)をそれぞれ教えてください		 ※表形式
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数(人) 退職者数(人)
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部		介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の 人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-イ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員 (名) 非常勤職員 (名)
問4-1-3-ウ	全部		現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要(名)必要⇒理由()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、 職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない

⑭R7看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇 用前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に 従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・ 契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 介護支援専	 門員の意見	」 見について			
問5	一部		業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域(町内会や民生委員など)との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿ったサービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他(具体的に) 特にない
6 自由記載					
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般の ほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありました ら、ご自由に入力してください	記述	

⑮R7介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
1 事業所につ	いて			11/16	
問1-1	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-2			施設の形態について教えてください	単一	従来型 一部ユニット型 ユニット型 地域密着型
問1-3	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある($1\sim3$ 事業所)ある($4\sim6$ 事業所)ある($7\sim9$ 事業所)ある($10\sim15$ 事業所)ある(16 事業所以上)ない
問1-4		併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-3 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応 型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス時間短縮型(総合事業)
2 サービスの	提供状況	等について			
問2-1	一部	事業所(施設)の定員、入所者の状況	<u>令和7年11月1日</u> 現在における、事業所(施設)の定員および入所(入居)者の 状況についてお答えください(短期入所生活介護分を除く) ※入所(入居)者には一時入院中の方を含みます。		
問2-1-1		定員	定員		全体(人)
問2-1-2		ユニット数	ユニット数		全体(ユニット)
			要介護1		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護 2		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護3		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護 4		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護 5		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			その他(経過措置を含む)		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
問2-2	一部	入所者の入所前の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における入所者全員」 の入所前の状況として当てはまるものを選択肢、その入所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください		 ※表形式
問2-2-1			居宅	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-2-2			ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名)
問2-2-3			有料老人ホーム	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名)
問2-2-4			養護老人ホーム	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名)
問2-2-5			認知症グループホーム	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名)
問2-2-6			サービス付き高齢者向け住宅		要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名)
問2-2-7			介護老人福祉施設	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-2-8			介護老人保健施設	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名)
問2-2-9			病院・診療所など		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-2-10			介護医療院		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-2-11			その他		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3	一部	入所者の退所後の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における退所者全員」 の退所後の状況として当てはまるものを選択し、その退所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください	記述	※表形式
問2-3-1			居宅	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3-2			ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3-3			有料老人ホーム	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3-4			養護老人ホーム		要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名)
問2-3-5			認知症グループホーム		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3-6			サービス付き高齢者向け住宅		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3-7			介護老人福祉施設		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3-8			介護老人保健施設		要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名)
問2-3-9			病院・診療所など		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3-10			介護医療院		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3-11		I	死亡		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名)
問2-3-12			その他		要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名)
問2-4	一部	ターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験の有無	余命が数か月〜半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験がありますか		ある ない
問2-5	一部	ターミナルケア(看取り)についての考え	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している
問2-6	一部	ターミナルケア(看取り)を可能とするために必要な条 件	【問2-4「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族 の協力 ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談で きる人や機関 その他(具体的に)
3 事業所の運	営についつ	Ċ			
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思う か、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	

⑮R7介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサールティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と 協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-4	一部	夜間勤務体制 (夜勤職員の配置)	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-6	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活 動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行って いますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
問3-7-2		災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
4 職員への対応	心につい		過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および平均)		
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況 	世去1年间における職員の採用状況と採用・返職の八数、足有状況(および十号) 在籍年数)をそれぞれ教えてください		※表形式 (各職種それぞれについて)
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数 (人) 退職者数 (人)
問4-1-1-ア-B	A +=		非常勤職員	114	
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員		 ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	パロープープの治療・水穴疾体の治療・穴字・寺門子校への伝統・穴物が遺伝性への伝統・穴物が介伝性の治療・音性 ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ		定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか		定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)
問4-1-3-イ-B	全部		【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載		ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員(名)非常勤職員(名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名)必要⇒理由 ()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと 考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての 予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの 緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策を とっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが 減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落 ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は 給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】	複数	 時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか 職員に受けさせたい外部研修は何ですか		介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修

⑮R7介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手(※)を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助(食事、入浴、 排せつ介助など)は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サ ポートを主な業務とする職員(パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職 員)を指します。		活用している 活用していない 介護助手が何か知らない
問4-11	一部	 介護助手の活用効果 	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他(具体的に) あまり効果は感じられない	一部	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他 (具体的に) あまり効果は感じられない
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	予定がある 予定がない	一部	予定がある 予定がない
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に 介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他(具体的に)	一部	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他(具体的に)
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の 試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事 したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手 続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 介護支援専門	門員の意見	見について 「	人業 (マ叶) サービュの田坐にヤハオー声楽記の温エロにのハイビのトミに成じ		
問5	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護(予防)サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	単一	※表形式
問5-1-1			訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-2 問5-1-3			訪問入浴介護 訪問看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない 多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-3 問5-1-4			助回有護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-5			居宅療養管理指導		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-6			通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-7			通所リハビリテーション		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-8			短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-9			短期入所療養介護	•	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-10			特定施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-11			福祉用具貸与		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-12			特定福祉用具販売		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-13			介護老人福祉施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-14			介護老人保健施設		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-15			介護医療院		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-16			定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-17			夜間対応型訪問介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-18			地域密着型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-19			認知症対応型通所介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-20			小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-21			認知症対応型共同生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-22			地域密着型特定施設入居者生活介護地域密差型企業者人類地域密差型企業者人類地域認及民		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-23			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-24			看護小規模多機能型居宅介護		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-25			居宅介護支援 計開刊サービス(総合東署)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-26			訪問型サービス(総合事業)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-27			通所型サービス(総合事業)		多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-1-28			通所型サービス時間短縮型(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
6 自由記載 問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述	

⑯R7介護老人保健施設調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
1 事業所につい)T			ハンエし	
問1-1		施設の経営形態	施設の経営形態について教えてください	単一	医療法人 社会福祉法人 その他(具体的に)
問1-2	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	<u>_</u> 単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-2	一部	施設の形態	施設の形態について教えてください	<u>+</u> 単一	従来型 一部ユニット型 ユニット型
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	 単一	ある (1~3事業所) ある (4~6事業所) ある (7~9事業所) ある (10~15事業所) ある (16事業所以 上) ない
問1-5	—部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業) 通所型サービス時間短縮型(総合事業)
2 サービスの扱	供状況等に	ついて			
問2-1	一部	事業所(施設)の定員、入所者の状況	<u>今和7年11月1日</u> 現在における、事業所(施設)の定員および入所(入居)者の状況についてお答えください(短期入所生活介護分を除く) ※入所(入居)者には一時入院中の方を含みます。	記述	※表形式
問2-1-1		定員	定員		全体(人)
問2-1-2		ユニット数	ユニット数		全体(ユニット)
			要支援1		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護 2		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護3		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護4		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要介護5		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			その他(経過措置を含む)		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
問2-2	一部	入所者の入所前の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における入所者全員」の入 所前の状況として当てはまるものを選択肢、その入所者数を要介護度別にそれぞれ入 力してください		 ※表形式
問2-2-1			居宅	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-2-2			ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-2-3			有料老人ホーム	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-2-4			養護老人ホーム	記述	要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名
問2-2-5			認知症グループホーム	記述	要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名
問2-2-6			サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-2-7			介護老人福祉施設	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-2-8			介護老人保健施設	記述	要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名
問2-2-9			病院・診療所など	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-2-10			介護医療院	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-2-11			その他	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-3	—部	入所者の退所後の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における退所者全員」の退 所後の状況として当てはまるものを選択し、その退所者数を要介護度別にそれぞれ入 力してください		※表形式
問2-3-1			居宅	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-3-2			ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名
問2-3-3			有料老人ホーム	記述	要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名
問2-3-4			養護老人ホーム	記述	要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護5 (名
問2-3-5			認知症グループホーム	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-3-6			サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-3-7			介護老人福祉施設	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-3-8			介護老人保健施設	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)要介護5(名
問2-3-9			病院・診療所など	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-3-10			介護医療院	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-3-11			死亡	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)要介護5 (名
問2-3-12			その他	記述	要介護1 名)要介護2 名)要介護3 名)要介護4 名)要介護5 名
問2-4	一部	ターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験の有無	余命が数か月~半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア(看取り)に	単一	ある ない
問2-5	一部	ターミナルケア(看取り)についての考え	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している
問2-6	一部	ターミナルケア(看取り)を可能とするために必要な条 件	【問2-4で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えま すか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に
3 事業所の運営	について	'			
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

	1	1			 利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画 どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご 意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-4	一部		夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述	
問3-6	一部		利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていま すか		行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画(BCP)の 策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害 時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
問3-7-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-7-4	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対応	応について				
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況をそれぞれ教えて	記述	※表形式 (4 取) (4 ア カンズ)
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	(各職種それぞれについて) 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数(
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内) 介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ		定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A 問4-1-3-イ-B	全部	定年年齢定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載単一	している。
尚4-1-3-イ -B 問4-1-3-ウ	全部全部		【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか 介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない 常勤職員(名) 非常勤職員(名)
			打装サービスを提供する職員の吊動・非吊動の美人数はそれぞれに人ですが 現状の職員数をどのように考えますか。		
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分であるのさらに職員が必要(のおり必要⇒理由(のおり)
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった 基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故に
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	ついての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない

問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している。していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】	 複数	時間の余裕がない
PJ4-8	王即	外部研修などへ参加させていない珪田	外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	怪奴)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 水ンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手(※)を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助(食事、入浴、排せ つ介助など)は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポートを 主な業務とする職員(パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員)を指しま	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教 えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他(具体的に) あまり効果は感じられない
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はあり ますか	単一	予定がある 予定がない
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてくださ い	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他(具体的に)
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規 雇用前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事した か、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-16-3	全部		能力	単一	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	
5 介護支援専	門員の意見に	こついて ※ 意見集約をお願いします ※			
問5	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護(予防)サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じてい	単一	※表形式
問5-1			訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-2			訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-3 問5-4			訪問看護 訪問リハビリテーション	<u>単一</u> 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない 多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-4 問5-5			おこれ おこれ	単一 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-6			通所介護	<u>+</u> 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-7			通所リハビリテーション	<u>+</u> 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-8			短期入所生活介護	 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-9			短期入所療養介護	<u>·</u> 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-10			特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-11			福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-12			特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-13			介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-14			介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-16			介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-17			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-18			夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない タい やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-19 問5-20			認知症対応型通所介護	単一 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-20 問5-21			小規模多機能型居宅介護	単一 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-21			認知症対応型共同生活介護	 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-23			地域密着型特定施設入居者生活介護	 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-24			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	<u>·</u> 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-25			看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-26			居宅介護支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-27			訪問型サービス(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-28			通所型サービス(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-29			通所型サービス時間短縮型(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
6 自由記載					
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述	
	i	4			

⑪R7介護医療院調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
1 事業所につ				がれ	
問1-1	一部	施設の経営形態	施設の経営形態について教えてください	単一	医療法人 社会福祉法人 財団法人 その他(具体的に)
問1-2	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	<u>+</u> 単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-3	単独	施設の運営形態	該当する形態を選択し、その病床数を入力してください	<u>+</u> 記述	I型 (
2 サービスの			欧ヨチるが窓を送がし、その内体数を入りしてください	几处	
2) []					介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 介護老人保健施設 病院 診療所 介護医療院
問2-1	一部	運営法人が同一または同一の代表者が運営している関連施設		複数	一 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) その他(具体的に) 関連施設は ない
問2-2	一部	入所者の入所前の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における入所者全員」 の入所前の状況として当てはまるものを選択肢、その入所者数を要介護度別に それぞれ入力してください	記述	※表形式
問2-2-1			居宅	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-2-2			ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名) 要介護1 (名) 要介護2 (名) 要介護3 (名) 要介護4 (名)
問2-2-3			有料老人ホーム	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
問2-2-4			養護老人ホーム	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
問2-2-5			認知症グループホーム	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
問2-2-6			サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-2-7			介護老人福祉施設	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-2-8			介護老人保健施設	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
問2-2-9			That of this case is	記述	
			病院・診療所など		要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-2-10			介護医療院	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-2-11			その他	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-3	一部	入所者の退所後の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における退所者全員」 の退所後の状況として当てはまるものを選択し、その退所者数を要介護度別に それぞれ入力してください	記述	※表形式
問2-3-1			居宅	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
問2-3-2			ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名) 要介護1(名) 要介護2(名) 要介護3(名) 要介護4(名)
問2-3-3			有料老人ホーム	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-3-4			養護老人ホーム	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
問2-3-5			認知症グループホーム	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
					女川竣工(
問2-3-6			サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-3-7			介護老人福祉施設	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-3-8			介護老人保健施設	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-3-10			病院・診療所など	記述	要介護1 (名)要介護2 (名)要介護3 (名)要介護4 (名)
問2-3-11			介護医療院	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
問2-3-12			死亡	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
問2-3-13			その他	記述	要介護1(名)要介護2(名)要介護3(名)要介護4(名)
3 事業所の運					
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する 報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部		【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思う か、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-4	一部	夜間勤務体制(夜勤職員の配置)	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置

問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述	
問3-6-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業 継続計画(BCP)の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
問3-6-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
問3-6-4	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員 の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他(具体的に)
4 職員への対	応について			== \ D	
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれぞれ	記述	※表形式 (各職種それぞれについて)
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具 体的に)
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数(32時間を下回る場合は32時間)』です	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳 (名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員 (名) 非常勤職員 (名)
問4-1-3-工	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要(名)必要⇒理由()
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多い と考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は 十分な給与が得られていない
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手(※)を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助(食事、入 浴、排せつ介助など)は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺 業務サポートを主な業務とする職員(パート・アルバイトを含む雇用契約に基 づいた職員)を指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない

問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果 を教えてください		職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他(具体的に) あまり効果は感じられない
問4-12	—部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定は ありますか	単一	予定がある 予定がない
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や 労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感が ある 必要性を感じない その他(具体的に)
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼する ことをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時 的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従 事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足のやや満足のやや不満の非常に不満
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)
問4-18	全部		今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 介護支援専			y de la		The state of the s
問5	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護(予防)サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感 じていますか	単一	※表形式
問5-1			訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-2			訪問入浴介護	<u>·</u> 単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-3			訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-4			訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-5			居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-6			通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-7			通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-8			短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-9			短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-10			特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-11			福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-12			特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-13			介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-14			介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-15			介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-16			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-17			夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-18		4	地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-19		4	認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-20		4	小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-21		_	認知症対応型共同生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-22		_	地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-23		_	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-24		4	看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-25		4	居宅介護支援 (総合東業)	単一 	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-26		4	訪問型サービス(総合事業)	<u>単一</u>	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-27		4	通所型サービス(総合事業)	単一 	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
問5-28			通所型サービス時間短縮型(総合事業)	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない
6 自由記載					
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	が、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご 自由に入力してください	記述	

⑱R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
1 事業所につい	て				
問1-1	一部	施設の経営形態	施設の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他(具体的に)
問1-2	単独	施設の種別	施設の種別について教えてください	単一	養護老人ホーム 軽費老人ホーム(A型・B型) ケアハウス 有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅を含む)
問1-3	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください		中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区
問1-4	単独	特定施設入居者生活介護の事業所指定の状況	介護保険法における「特定施設入居者生活介護」の事業所指定の状況について教えてください	単一	指定を受けている 指定は受けていない
問1-5	単独	特定施設入居者生活介護への転換意向の有無	【問1-4で「指定は受けていない」の方のみ】 現在の施設を特定施設入居者生活介護へ転換したい意向はありますか ※現在は公募による新設の場合のみを認めています	-	あるない
問1-6	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある(1~3事業所) ある(4~6事業所) ある(7~9事業所) ある(10~15事業所) ある(16事
問1-7	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-6 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方の み】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください		訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援(介護予防ケアマネジメント) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス(総合事業) 通所型サービス(総合事業)
2 サービスの提	供状況等に	こついて			
問2-1	一部	事業所(施設)の定員、入所者の状況	<u>令和7年11月1日</u> 現在における、事業所(施設)の定員および入所(入居)者の状況についてお答えください(短期入所生活介護分を除く) ※入所(入居)者には一時入院中の方を含みます。	記述	※表形式
問2-1-1		定員	定員		全体(人)
問2-1-2			自立		全体(名)うち、札幌市外の介護保険被保険者(名)
			要支援1		全体(名)うち、札幌市の介護保険被保険者(名)
			要支援 2		全体(名)うち、札幌市の介護保険被保険者(名)
			要介護1		全体(名)うち、札幌市の介護保険被保険者(名)
			要介護2		全体(名)うち、札幌市の介護保険被保険者(名)
			要介護3		全体(名)うち、札幌市の介護保険被保険者(名)
			要介護4		全体(名)うち、札幌市の介護保険被保険者(名)
			要介護5		全体(名)うち、札幌市の介護保険被保険者(名)
			【間2-1-2の「外部サービス利用者数」のうち訪問介護の利用がある方の		
問2-2	一部	予定時間以外の対応	み】 予定時間以外の対応をどのようにされていますか		予定時間以外の対応を必要とする方はほとんどいない(住宅のサービスとして提供している(提供メニュー
問2-1	一部	ターミナルケア(看取り)に取り組んだ経験の有無	余命が数か月〜半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア (看取り)に取り組んだ経験がありますか	単一	あるない
問2-2	一部	ターミナルケア(看取り)についての考え	ターミナルケア(看取り)についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している
問2-3	一部	ターミナルケア(看取り)を可能とするために必要な条 件	【問2-2で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア(看取り)を可能とするためには、どのような条件が必要 だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者(家族)の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス(訪問看護を除く)の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他(具体的に)
3 施設の運営に	ついて				
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域(町内会や民生委員など)との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他(具体的に) 特に問題はない
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他(具体的に)
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと 思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方の み】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「指定を受けている」方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量(需要)を

⑱R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)調査

		設問内容	回答	選択肢
7.320	maca -	BAIFII J H	形式	
全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価 の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の 実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他(具体的に) 特に何も行っていない
全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他(具体的に)
全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述	
一部	夜間勤務体制(夜勤職員の配置)	夜間の勤務体制(夜勤職員の配置)について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置
一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述	
一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活 動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を 行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事(盆踊り、花見、敬老会など)に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他(具体的に) 特に何も行っていない
全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画 (BCP) の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体 制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他(具体的に)
全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えています か	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他(具体的に) 特に考えていない
ついて				
	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(および平均在籍年数)をそれぞれ教えてください	記述	
全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員		(各職種それぞれについて)計画どおり採用できている計画どおり採用できていない採用計画はない採用人数(人)退職者数(
				※表形式
全部	□職員の定着状況			良い 比較的良い あまり良くない 良くない
		非常勤職員		※表形式
全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか(3つ以内)	後数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社 の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他(具体的に)
全部	介護サービスを提供する職員数(常勤換算)	の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』を お使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が	記述	職員数(常勤換算)(名) うち29歳以下(名) 30~39歳(名) 40~49歳(名) 50~59歳(名) 60~69歳(名) 70歳以上(名)
全部	定年制度			定年制度を設けている 定年制度を設けていない (年齢に関わらず働ける)
全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)
全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はあります	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない
全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人です	記述	常勤職員(名)非常勤職員(名)
全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要 (名)必要⇒理由()
全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が 多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年 齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退 職はなかった
全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の 事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策を とっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っ ている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない
全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化しています か	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーション や助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えて いる サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)
全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担 に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない
				介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故 防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘
全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行ってい ない
	全部 部部 部部 部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部	全部 サービスの質の向上のために行っている取組 全部 サービス利用に関する苦情解決の方法 全部 解決できない問題 一部 夜間動務体制(夜動職員の配置) 一部 夜間の人員体制についての自由記載 一部 利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動 全部 災害発生の備えとして既に取り組んでいること 全部 災害発生時に備えた今後の地域との協力体制 ついて 過去1年間の採用、定着状況 全部 職員の定着状況 全部 職員募集で効果があった方法 全部 方護サービスを提供する職員数(常勤換算) 全部 定年年齢 全部 定年年齢 全部 定年年齢 全部 定年年齢 全部 定年年齢 全部 定年年後の継続雇用制度 職員数の過不足に対する考え 全部 職員数の過不足に対する考え 全部 職員人数の過不足に対する考え 全部 職員人数の過不足に対する考え 全部 職員の退職理由として多いと感じるもの 全部 職員に対して行っている配慮 全部 職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	全部 サービスの質の向上のために行っている取組 サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか サービス利用に関する苦情解決の方法 サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか インドラス (間からでもない場合がある)の方のよう (表現の長度特別に入りしてくたさい) 一部 理動務体制 (権動産員の配理) で	全部 サービスの質の向上のために行っている取組 サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか 複数 サービス利用に関する苦情解決の方法 サービス利用に関する苦情解決の方法 サービス利用に関する苦情解決の方法 グラウス 複数 サービス利用に関する苦情解決の方法 クラウス 複数 サービス利用に関する苦情解決の方法 を数 が決てきない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください 単一一部 で関め人具体制についての自由記載 ごの内容をできるだけ具体的に入力してください 単一の内容をできるだけ具体的に入力してください 単一の内容をできるだけ具体的に入力してください 単一の内容をできるだけ具体的に入力してください 単一の内容をできるだけ具体的に入力してください 単一の内容をできるだけ具体的に入力してください 単一の内容をできるたけ具体的に入力してください 単一の内容をできるたけりまたのとう に対していますが 別用者と地域がつながるための工夫として行っている 利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を 複数 災害発生の備えとして既に取り組んでいること 災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか 複数 災害発生の情えたう後の地域との協力体制 災害発生時に備えて、地域との協力体制の情寒、を選択しなかった方のみ】 実際生物に備えて、地域との協力体制の情寒、を選択しなかった方のみ】 実際生物に備えて、地域の大変に有えています サーフンで 場所は、 1 年間における観賞の採用状況と採用・退職の人数、定着状況(およ 記述・実際制護員 第一位

⑱R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故 防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手(※)を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助(食事、 入浴、排せつ介助など)は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員 の周辺業務サポートを主な業務とする職員(パート・アルバイトを含む雇 用契約に基づいた職員)を指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他(具体的に) あまり効果は感じられない
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する 予定はありますか	単一	予定がある 予定がない
問4-13	—	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教 えてください		予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不 安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他(具体的に)
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼 することをいいます		活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務 に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか		
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)
問4-16-2	全部		従事内容		入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体 的に)
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	的に)
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない
5 自由記載					
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般 のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありまし たら、ご自由に入力してください		

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
-nn			71720	
	人・団体の形態について 設置法人・団体の経営形態		単一	
問1		改直広八・団体の柱呂形態に りいて教えてくたさい		(具体的に)
2 サービ	スの提供状況等について			
問2	札幌市内で運営(提供)している介護保険サービス	該当するサービスの種類を選択し、対応して表示される入力欄にそ の事業所数をそれぞれ入力してください	複数	訪問介護(か所) 訪問入浴介護(か所) 訪問看護(か所) 訪問リハビリテーション(か所) 居宅療養管理指導(か所) 通所介護(か所) 通所リハビリテーション(か所) 短期入所生活介護(か所) 短期入所療養介護(か所) 特定施設入居者生活介護(か所) 有護者人福祉用具以表(か所) 存護者人保健施設(か所) 介護を外に、 か所) 介護者人福祉施設(か所) 介護者人保健施設(か所) 介護医療院(か所) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(か所) 夜間対応型訪問介護(か所) 地域密着型通所介護(か所) 認知症対応型通所介護(か所) 小規模多機能型居宅介護(か所) 認知症対応型共同生活介護(か所) 地域密着型特定施設入居者生活介護(か所) 地域密着型介護者人福祉施設入居者生活介護(か所) 請問型サービス(総合事業)(か所) 通所型サービス(総合事業)(か所) 通所型サービス(総合事業)(か所)
3 事業の	収支状況について			
問3-1	介護保険サービス事業の収支状況(令和6年度実績)	介護保険サービス事業の令和6年度実績における収支はどのような 状況ですか。現在、札幌市内で提供しているサービス事業全体およ びサービス種類別に教えてください ※同一サービス種類で複数の事業所を運営している場合は、それら の平均的な収支状況を教えてください	単一	
問3-1-A		サービス事業全体		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-1		訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-2		訪問入浴介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-3		訪問看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-4		訪問リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-5		居宅療養管理指導		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-6		通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-7		通所リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-8		短期入所生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-9		短期入所療養介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-10		特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-11		福祉用具貸与		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-12		特定福祉用具販売		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-13		居宅介護支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-14		介護予防支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-15		介護老人福祉施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-16		介護老人保健施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-17		介護医療院	<u> </u>	黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-19		夜間対応型訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-20		地域密着型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-21 問3-1-A-22		認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護		黒字やや黒字ほぼ均衡やや赤字赤字黒字やや黒字ほぼ均衡やや赤字赤字
同3-1-A-22 問3-1-A-23		小規模多機能型店毛介護 認知症対応型共同生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字 黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-23 問3-1-A-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-24 問3-1-A-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	-	黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-25 問3-1-A-26		看護小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-27		訪問型サービス(訪問介護相当型)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-28		通所型サービス(通所介護相当型)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-1-A-29		通所型サービス(時間短縮型)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2	介護保険サービス事業の収支状況(令和7年度見通し)	介護保険サービス事業の令和7年度における収支の見通しはどのような状況ですか。現在、札幌市内で提供しているサービス事業全体およびサービス種類別に教えてください ※同一サービス種類で複数の事業所を運営している場合は、それらの平均的な収支状況を教えてください	単一	
問3-2-0		サービス事業全体		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-1		訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-2		訪問入浴介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-3		訪問看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-4		訪問リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問3-2-5	·		11/21	 黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-6		通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-7		通所リハビリテーション		
問3-2-8		短期入所生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-9		短期入所療養介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-10		特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-11		福祉用具貸与		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-12		特定福祉用具販売		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-13		居宅介護支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-14		介護予防支援		黒字をや黒字にぼ均衡をや赤字を赤字を
問3-2-15		介護老人福祉施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-16		介護老人保健施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-17		介護医療院		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-19		夜間対応型訪問介護	+	黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-19		地域密着型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
			-	
問3-2-21		認知症対応型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-22		小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-23		認知症対応型共同生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		黒字のや黒字のほぼ均衡のやや赤字の赤字の
問3-2-26		看護小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-27		訪問型サービス(総合事業)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-28		通所型サービス(総合事業)		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
問3-2-29		通所型サービス時間短縮型(総合事業)	1	黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字
		週川王) これ的同心帽王(柳日事来)		「
寸 事未//			T	介護従事者(ヘルパーなど)の確保が難しい 専門職(看護師、理学療法士など)の確保が難しい 人材育成が難
問4-1	事業所運営に関する問題点	現在運営している事業所について、運営に関する問題点はどのよう なものがありますか	複数	
問4-2	従事者確保が難しい主な原因	【問4-1で「介護従事者の確保が難しい」の方のみ】 主な原因をどのように考えていますか	複数	仕事に見合わない給与 重労働 不規則勤務がある 職場の人間関係の難しさ その他(具体的に)
問4-3	介護報酬の設定金額に対する考え	【問4-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 介護報酬の設定金額について、現在生じている課題とどのような改善が必要と思うか教えてください	記述	
問4-4	経営に関する問題を解決する際の相談先	【問4-1で「特に問題はない」以外の方のみ】 運営に関する問題点を解決するために、どのようなところに相談し ていますか	複数	関連法人・事業所 他の介護保険サービス運営法人・事業所 公の経営相談窓口 民間の経営コンサルタント、公 認会計士・中小企業診断士などの専門家 その他(具体的に) 特に相談はしていない
問4-5-1	人材確保のために現在行っている取組	人材の確保のために、現在どのような取組を行っていますか	複数	職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 十分な研修の機会を設けるなど、介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかける ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する啓発・PR活動などに取り組む その他(具体的に)特にない
問4-5-2	人材確保のために今後取り組んでいきたいもの	人材の確保のために、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 十分な研修の機会を設けるなど、介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかける ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する啓発・PR活動などに取り組む その他(具体的に)特にない
問4-6-1	人材の定着化のために現在行っている取組	採用した人材の定着化を図るために、現在どのような取組を行っていますか	複数	残業を少なくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善 賃金水準の向上 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映 職員の仕事内容と必要な能力などを明示 キャリアに応じた給与体系を整備有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける 新人の指導担当・アドバイザーを置く 能力開発の充実(社内研修実施、社外講習等の受講・支援など) 仕事内容の希望を聞いて配置 悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける 健康対策や健康管理に力を入れる 定期的なミーティングなど、職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設ける 業務改善や効率化などによる働きやすい職場作り 介護ロボットやICTなどの導入による働きやすい職場作り 福利厚生を充実 職場環境を整える(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など) 子育て支援を行う(子ども預かり所を設ける、保育費用支援など) その他(具体的に) 特にない

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問4-6-2	人材の定着化のために今後行いたい取組	採用した人材の定着化を図るために、今後取り組んでいきたいもの はありますか	複数	残業を少なくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善 賃金水準の向上 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映 職員の仕事内容と必要な能力などを明示 キャリアに応じた給与体系を整備有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける 新人の指導担当・アドバイザーを置く 能力開発の充実(社内研修実施、社外講習等の受講・支援など) 仕事内容の希望を聞いて配置 悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける 健康対策や健康管理に力を入れる 定期的なミーティングなど、職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設ける 業務改善や効率化などによる働きやすい職場作り 介護ロボットやICTなどの導入による働きやすい職場作り 福利厚生を充実 職場環境を整える(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など) 子育て支援を行う(子ども預かり所を設ける、保育費用支援など) その他(具体的に) 特にない
問4-7-1	外国人介護人材の採用実績	外国人介護人材の採用実績について教えてください	単一	現在採用している。過去に採用していた。これまで採用したことはない
問4-7-2	採用した外国人介護人材の状況	【問4-7-1で「採用している(していた)」の方のみ】 概ねここ3年間で採用した人数(うち転職者数)、国籍、従事した 介護サービス種類について教えてください。また、在留資格につい て該当するものを選択し、それぞれの人数を教えてください	記述	採用人数(人) うち転職者数(介護業界からの転職(人) 他業界からの転職(人)) 国籍 () 従事した介護サービスの種類() 在留資格(EPA(経済連携協定)(人) 技能実習(人) 在留資格「介護」(人) 特定技 能(人) その他(具体的に))※選択した在留資格のみ人数入力
問4-7-3	今後の外国人介護人材の採用予定とその理由	今後の外国人介護人材の採用予定とその理由を教えてください	単一	採用したいと考えている 検討中 当面はない (理由:)
問4-7-4	採用を検討している外国人介護人材の在留資格	【問4-7-3で「当面はない」以外の方のみ】 どのような在留資格の外国人介護人材について採用を検討していま すか	複数	EPA(経済連携協定) 技能実習 在留資格「介護」 特定技能 その他(具体的に)
問4-7-5	外国人介護人材の採用・受け入れの不安や負担	外国人介護人材の採用・受け入れにあたり、不安や負担を感じてい ることはありますか	複数	採用コスト(紹介料、渡航費など) 教育・研修にかかる時間と人員の確保 日本語能力の不足 文化・宗教・生活習慣の違いへの対応 日常生活の支援(住居・被服など) 職場内のコミュニケーション 利用者とのコミュニケーション 離職率の高さ その他(具体的に) 特に不安や負担を感じていることはない
問4-7-6	外国人介護人材の退職の有無	【問4-7-1で「採用している(していた)」の方のみ】 概ねここ3年間で退職した外国人介護人材はいますか	単一	いる いない
問4-7-7	外国人介護人材の退職人数	【問4-7-6で「いる」の方のみ】 概ねここ3年間で退職した外国人介護人材の人数を教えてください	記述	(人)
問4-7-8	外国人介護人材の退職後の進路	【問4-7-6で「いる」の方のみ】 外国人介護人材の退職後の進路について該当するものを全て選択 し、それぞれの人数を教えてください	複数	在留期間満了による帰国 (人) 在留期間中の自主帰国 (人) 札幌市内介護事業所への転職 (人) 道内(札幌市除く)介護事業所への転職 (人) 道外介護事業所への転職 (人) 介護業界以外への転職 (人) 不明 (人) ※選択した進路のみ人数入力
問4-7-9	外国人介護人材の退職の要因	【問4-7-8で「在留期間満了による帰国」以外の方のみ】 「在留期間満了による帰国」以外の外国人介護人材の退職について、その背景と考えられる要因を教えてください ※3つまで選択	複数	給与・待遇への不満 職場の人間関係 業務のサポート体制の不足 日本語・コミュニケーションの難しさ 私的な生活面の困難(生活費や友人など) 地域の生活環境の不便さ(交通・買い物など) 気候や地域特性が合わなかった 他事業所からの引き抜き その他(具体的に)
問4-7-10	外国人介護人材の採用に関する要望・意見	外国人介護人材の採用に関して、知りたいこと、望むこと、札幌市に 対してのご 意見やご要望がありましたら、ご自由に入力してく ださい		
問4-8-1	一般事務以外で受け入れている派遣労働者の有無	貴法人では一般事務以外で派遣労働者を受け入れていますか	単一	いる いない
問4-8-2	受け入れている派遣労働者の職種と人数	【問4-8-1で「受け入れている」の方のみ】 ※該当する派遣労働者の職種を選択し、対応して表示される入力欄 にその受入人数をそれぞれ入力してください	記述	訪問介護員 (人)介護職員 (人)看護職員 (人)介護報酬請求事務 (人)その他 (人)
問4-8-3	直近1年間の介護事業収入に占める割合	直近1年間の介護事業収入に占める人件費の割合(労働保険、社会 保険料を含む)と派遣料金の割合をそれぞれ教えてください	記述	人件費の割合(派遣料金を含まない)(%) 派遣料金の割合(派遣労働者を受け入れていない場合は0) (%)
問4-9-1	一般事務以外の採用における人材紹介会社の利用状況	貴法人・団体での一般事務以外の採用における民間職業紹介事業者 (人材紹介)の利用状況について伺います	単一	直近1年間で利用した 過去に利用したことがある 利用したことはない
問4-9-2	人材紹介会社を利用して採用した職員の職種と人数	【問4-9-1で「直近1年間で利用した」の方のみ】 該当する人材紹介会社を利用した採用職員の職種を選択し、対応し て表示される入力欄にその採用人数をそれぞれ入力してください	記述	訪問介護員 (人)介護職員 (人)看護職員 (人)介護報酬請求事務 (人)その他 (人)
問4-9-3	直近1年間に人材紹介会社に支払ったおおよその手数料	【問4-9-1で「直近1年間で利用した」の方のみ】 直近1年間で貴法人が採用にあたり民間職業紹介事業者に支払った おおよその手数料を教えてください	記述	
問4-10-1	生産性向上や業務効率化のために現在行っている取組	生産性向上や業務効率化を図るために、現在どのような取組を行っていますか	複数	介護ロボットの活用(移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援などに関するもの) 介護ロボットの活用(見 守りコミュニケーション・介護業務支援などに関するもの) 介護記録、ケアプラン作成等にAI・ICT機器((介護ソフトが入ったタブレット端末など)の活用 介護助手の活用 ボランティアの活用 その他(具体的に) 特にない
問4-10-2	生産性向上や業務効率化のために今後行いたい取組	生産性向上や業務効率化を図るために、今後取り組んでいきたいも のはありますか	複数	介護ロボットの活用(移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援などに関するもの) 介護ロボットの活用(見守りコミュニケーション・介護業務支援などに関するもの) 介護記録、ケアプラン作成等にAI・ICT機器((介護ソフトが入ったタブレット端末など)の活用 介護助手の活用 ボランティアの活用 その他(具体的に) 特にない
問4-11	人材確保・定着に向けた行政の取組に対する要望・意見	人材の確保・定着のために行政に取り組んでほしいことがありましたら、ご自由に入力してください	記述	
5 今後の	ー サービスについて	1	•	

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問5-1	事業所の増設・参入予定	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、 事業所を増やす予定や、新たなサービスに参入する予定はあります		ある ない
問5-2	増設・参入予定の介護保険サービス提供事業所	【問5-1で「ある」の方のみ】 該当するサービスの種類を選択し、対応して表示される入力欄にその開設予定事業所数と時期、開設予定エリアをそれぞれ入力・選択してください(※「27.」~「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です)		
問5-2-1		訪問介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-2		訪問入浴介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-3		訪問看護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-4		訪問リハビリテーション		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-5		居宅療養管理指導		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-6		通所介護		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-7		通所リハビリテーション		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-8		短期入所生活介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-9		短期入所療養介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-10		特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-11		福祉用具貸与		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-12		特定福祉用具販売		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-13		居宅介護支援		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-14		介護予防支援		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-15		介護老人福祉施設		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-16		介護老人保健施設		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-17		介護医療院		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-19		夜間対応型訪問介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-20		地域密着型通所介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-21		認知症対応型通所介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-22		小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-23		認知症対応型共同生活介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃))
問5-2-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃))
問5-2-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃))
問5-2-26		看護小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃))
問5-2-27		訪問型サービス(総合事業)		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃))

設問№	設問趣旨	設問内容	回答 形式	選択肢
問5-2-28		通所型サービス(総合事業)		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-2-29		通所型サービス時間短縮型(総合事業)		開設予定事業所数と時期 (か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-3	総合事業の基準緩和	札幌市が、総合事業において訪問型サービス・通所型サービスの基準緩和を導入するとした場合に、現行の基準の中で、緩和を望むの はどの項目ですか		
問5-3-1	総合事業訪問型サービスが基準緩和されるなら望むこと	人員基準	複数	管理者(訪問)の配置基準の緩和 訪問介護員の配置基準の緩和 サービス提供責任者の配置基準の緩和 その他 (具体的に) 特に望むことはない
問5-3-2	総合事業通所型サービスが基準緩和されるなら望むこと	人員基準	複数	管理者(通所)の配置基準の緩和 生活相談員の配置基準の緩和 看護職員の配置基準の緩和 介護職員の配置基準の緩和 機能訓練指導員の配置基準の緩和 その他(具体的に) 特に望むことはない
		施設基準	複数	食堂及び機能訓練室の設置基準の緩和 静養室の設置基準の緩和 相談室の設置基準の緩和 事務室の設置基準の 緩和 その他(具体的に) 特に望むことはない
問5-4	事業所の削減予定の有無	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、 事業所の数を削減する予定はありますか	単一	あるない
問5-5	事業所を削減する理由	【問5-4で「ある」の方のみ】 削減する理由は何ですか	複数	必要な従業員を確保できない 採算が合わない 事業所を譲渡するから 他のサービス種類へ変更するから その 他(具体的に)
問5-6	削減予定の介護保険サービス提供事業所	【問5-4で「ある」の方のみ】 該当するサービスの種類を選択し、対応して表示される入力欄にそ の削減予定事業所数と時期、削減予定エリアをそれぞれ入力・選択 してください(※ 介護予防・日常生活支援総合事業のみを廃止す る場合は「27.」~「29.」を選択してください)	記述	
問5-6-1		訪問介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-2		訪問入浴介護		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-3		訪問看護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-4		訪問リハビリテーション		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-5		居宅療養管理指導		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-6		通所介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-7		通所リハビリテーション		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-8		短期入所生活介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-9		短期入所療養介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-10		特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-11		福祉用具貸与		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-12		特定福祉用具販売		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-13		居宅介護支援		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-14		介護予防支援		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-15		介護老人福祉施設		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-16		介護老人保健施設		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-17		介護医療院		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃))
問5-6-19		夜間対応型訪問介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃))
問5-6-20		地域密着型通所介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設アに事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢
問5-6-21		認知症対応型通所介護	11/16	 開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-22		小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期 (か所程度 (令和 年度頃)) 開設エリア (中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-23		認知症対応型共同生活介護		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-26		看護小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-27		訪問型サービス(訪問介護相当型)		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-28		通所型サービス(通所介護相当型)		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
問5-6-29		通所型サービス(時間短縮型)		開設予定事業所数と時期(か所程度(令和 年度頃)) 開設エリア(中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外)
6 自由記載				
問6	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述	